

まちづくり

生きがいのある町、定住したいと考える町を目指して

企業誘致の促進や生活環境の充実を図る



島崎隆夫 議員

質問

定住者の増加に向けて、促進策を打ち出してほしい。

答弁

政策推進課長 災害に強いまちづくりや企業誘致を促進します。さらに、住民生活環境の充実を図り、定住者の増加を目指します。

質問

市街化調整区域の見直し

と、都市計画の再構築について。

建設課長 昭和54年9月に都市計画が決定されました。見直しは、平成3年12月にありました。市街化区域内での十分な土地利用がなされていない現状では難しいですが、社会経済情勢の変化に応じて検討する必要があると思います。

建設課長 昭和54年9月に都市計画が決定されました。見直しは、平成3年12月にありました。市街化区域内での十分な土地利用がなされていない現状では難しいですが、社会経済情勢の変化に応じて検討する必要があると思います。

健康で生きがいのある町へ

健康な方をたえ、特典を付することはできないのか。

質問

町民生活課長

町民生活課長 国民皆保険制度は、国民がいつでも安心して治療が受けられることを保障しており、大変意義のあるものだと思います。当町としては、今後も予防医療に必要な各種検診、特定健康診査等の推進や地域での健康づくりへの支援を行なうことで、医療費の適正化を推進します。また、顕彰活動については、研究していきます。

医療の町として特化するために、さまざまな予防接種に対して最低でも半額を町負担とすることはできないのか。

質問

健康増進課長

健康増進課長 国の予防接種法の改正の動向を注視してまいります。

その他の質問

◎『小川町文化財保護条例』の現況確認
◎もっと文化財を生かして観光産業を育ててほしい



「定住したい町、おがわに」

まちづくり

たくさんの人が訪れる町に

活性化に取り組みたい



山口勝士 議員

質問

町の活性化の言葉が、住民の皆さんから出ない日はない。住民総所得から見ても、国による町の類型V-2を見ても、第3次産業（商業・サービス業）が特色である。たくさんの人が町を訪れ消費するための、具体的な手だてこそ優先的にやるべきではないか。

答弁

産業観光課長 当町としてできること、やらなければならないことを的確に見きわめ、活性化に取り組みたいです。

地域経済の成長戦略

ホンダに勤務する方を小川町に

宅地建物取引事業所にあっせん等をお願いする



井口亮一 議員

質問

当町でも企業誘致が実現した今、ホンダ進出による経済効果が目に見える形で実現しようとしている。

そこで、ますます重要性を増す地域経済の成長戦略については、ホンダに勤務する人たちに、当町に住んでもらえるような積極的な誘導策はあるのか。

答弁

産業観光課長 現在の狭山工場に勤務する方が来る場合を仮定すると、小川工場、寄居工場への通勤時間は45分程度であり、大部分の方が通

既存住宅地の開発協定の見直しは

質問

みどりが丘1丁目はいづろ行政区に格上げするのか。

答弁

建設課長 地元とも相談しながら、検討していきます。

質問

東小川地区とみどりが丘地区の防犯灯の電力料金は、開発協定を根拠に住民負担とされているが、住民サービスの公平性に著しく反しているのではないのか。

答弁

建設課長 開発業者から自治会に一部引き継がれた開発基本協定は20年以上経過しており、見直す必要があれば、協定内容を自治会等と協議していききたいと思います。

住民サービスの向上に

質問

震災の心配が高まる中、自助の基本として「家具の転倒予防対策」の重要性が言われている。しかし高齢化の中でそうした作業ができない世帯も増えている。そこで一定の契約のもと、シルバー人材センターに相談したところ、「作業に要する知識や先進事例を調査確認し前向きに検討したい」とのこと。町も状況をしながら協力したい。

答弁

総務課長 シルバー人材センターに相談したところ、「作業に要する知識や先進事例を調査確認し前向きに検討したい」とのこと。町も状況をしながら協力したい。

防災への女性の参画を

質問

東日本大震災の現場では、女性が悲しみの中大活躍してくれました。当



避難所で食後の団らん

その他の質問

◎粗大ごみの休日搬出を可能に
◎町職員の「行政区担当制」を